

**本項のポイント**

**〈ねらい〉**

本項では、大きく2つのテーマを扱います。①草の利用では、刈った草がどのように利用されているのかを理解させ、②草原と人々の関わりでは、野焼き、放牧、採草が草原とどのように関わっているのかをおさらいします。さらに人々の手によって守られてきた草原のすばらしさに気づかせます。

**〈進め方〉**

①前項を受け、刈り取った草が何に使われるのかを学習します。飼料がメインですが、堆肥の材料にも使われています。昔は茅葺き屋根に欠かせないものでしたが、時代と共にこの面での需要はほとんどなくなってしまいました。草の利用が減っていることは次項へつながります。

②これまで見てきた野焼き、放牧、採草などの草原維持管理作業のまとめをするとともに、これらの作業によって草原が守られてきたことを確認します。

野焼きや採草が草原の動植物にどのような影響を与えるのか、子どもたちの意見を聞いた上で、長年行われている作業が草原を守ってきた事実を伝えます。また、人が利用することで維持されてきた自然を二次的自然と呼ぶこと、日本には、阿蘇以外にも里山などと呼ばれる二次的自然が多くみられることを学びます。

そうして人々が暮らしの中で維持し、守ってきた阿蘇の草原が、豊かな自然環境とすばらしい景観を持つことを見直しましょう。国立公園に指定されていることも、阿蘇を自慢できるポイントのひとつです。最後に、子供たちの言葉で、阿蘇の草原のすばらしさを発表してもらってもよいでしょう。

**〈評価〉**

草の利用法を理解できたか。  
人々の長年に渡る草原維持管理作業が阿蘇の草原を守ってきたことを理解できたか。  
阿蘇の草原のすばらしさを認識できたか。

**草の利用**

まさかすくんの家では、牛小屋で牛を飼い、畑では野菜を育てています。野菜畑のすみには、草が積んであります。



**●たい肥**

動物のフンに落ち葉などの植物を混ぜてくさらせて作った肥料をたい肥といいます。阿蘇では、干し草を牛のフンに混ぜてたい肥を作っています。これを使うと、おいしくて元気な野菜ができます。

**おじいさんの話**

干し草は、冬の間の牛のえさや肥料の材料になる。牛小屋に敷いた草や牛が食べ残した草が、牛のフンや尿と混じって肥料(たい肥)のもとができる。こうしてできた肥料は畑で野菜を作るのに使うんだ。とても健康でおいしい野菜ができる。昔は一家に一人は牛や馬を飼っていたから、えさとなる草を必要としたんだ。最近では、トラクターや化学肥料が使われるようになって、牛や馬を飼う家が減ってきたので、草が使われなくなっているよ。



**世界中にじまんでできる阿蘇**



阿蘇の草原が、人々が利用することでつくり、守られてきたことはわかったね。  
阿蘇のすごさはそれだけではないよ。今では、年間1,900万人もの観光客が阿蘇に来て、草原の景色を楽しんでいる。それに、国立公園にもなっている。国立公園は、日本を代表する自然の景色であることを、国が認めた場所で、全国で28か所しかない。阿蘇の草原は、美しい景色とたくさんの生き物がくらす豊かさが評価されたんだ。ほくたちパークレンジャーは、この国立公園を守るために働いているんだ。みんなの小学校で、草原について話をするところがあるかもしれないよ。

そんなにたくさんの人が来ているなんてびっくり。

国立公園ってことは、日本の代表だよな。阿蘇はすごいんだなあ。じまんとしたくなかったよ。

**草原と人々の関わり**

草原では、いろいろな作業が行われていることがわかりました。農家の人たちがくらしのためにしている作業が、植物の生長などを助け、草原を守っています。

**●二次的自然**

阿蘇の草原のように、人が利用することで維持される自然を二次的自然といいます。日本には、二次的自然が多く見られます。山林や田畑など、人の手が入ることによって豊かな自然環境が保たれているのです。



農家の人の作業は、草原にとってもいいことだったのね。



そうだね。阿蘇では、千年も前から人々が草原を使ってきたんだって。



千年も!? 長い間、人々がかがわってきたから、こんなにきれいな草原ができたんだね。



でも、おじいちゃんも昔はもっともって草原が広がっていたって言うんだよ。



毎年、季節ごとに行われている大事な作業。これらの作業をしないと、草原はどうなってしまうかな? 今まで学習してきたことから考えてみよう。



野焼きをやめたら...



放牧をやめたら...



草刈りをやめたら...

( )をやめたら...「野焼き」「放牧」「草刈り」のどれかひとつを選んで書いてね。

**本項の問いかけ**

**〈作業の確認クイズでは...〉**

- ・草原で行われている作業をやめたら草原はどうなってしまうのか、これまで学習してきたことをもとに考えて書いてみます。  
→草原維持管理作業について、きちんと理解できているか確認します。
- ・野焼きを止めると  
→古い草が残って新しい芽が生えにくくなる。藪になってしまう。
- ・放牧を止めると  
→牛が草を食べないので草原がじゅうたんのようになめらかにならない。牛がいなくて糞虫もいなくなる。

**語句参照**

- 草の利用  
・草原ハンドブック P.39  
テーマ4:くらしと草原2-草は大切な資源-2.草を使う

**コラム 草原と人々のかかわり**

阿蘇の草原は、自然のままにしておくやがて藪になってしまいます。阿蘇の人々は、平安時代の昔から、放牧、採草、野焼きなどの作業を施して草原を維持してきました。人々は、農耕や牧畜を営む上での必要から、長年に渡って草原を守り続けてきましたが、農業だけでなく、茅葺き屋根のための茅、薪、「盆花(ぼんばな)採り※」といわれる先祖に供える草花の採取など、ほかの生活面においても、草原と密接に関わってきました。阿蘇の草原景観は、自然と人間との共生関係の中で築き上げられてきた人文景観であり、千年の草原と呼ぶにふさわしい歴史を誇るものなのです。  
※今は盆花として使われていた草花が姿を消しつつあるため、多くの植物が採取禁止になっています。

**語句参照**

- 堆肥  
・草原ハンドブック P.21  
テーマ2:くらしと草原-放牧で草原が守られる-2.放牧する(2)草原と牛と耕作地の関わり
- 草原の維持管理作業・草原利用の歴史・二次的自然  
・草原ハンドブック P.16-18  
テーマ2:くらしと草原1-放牧で草原が守られる-1.草原を守る
- 国立公園  
・草原ハンドブック P.10-12  
テーマ1:阿蘇のなりたち、そしてその魅力-3.阿蘇の魅力  
・草原再生 HP  
<http://www.aso-sougen.com/teaching/03.htm>

**確認と発展**

- 草の利用  
〈解説〉畑の近くにロールが並んでいる写真を見せ、大量の草を何に使うのだろうという疑問を喚起します。
- 阿蘇の魅力  
Q 観光客の人たちは、阿蘇に何をしに来るのだと思いますか?  
A 草原の風景を見に。火山を見に。珍しい動植物を見に。温泉に入るために。牛肉などおいしいものを食べるために。など

- 二次的自然  
〈解説〉二次的自然には、阿蘇の草原のほか田畑や雑木林、ため池などがありますが、放棄されると、二次的自然特有の動植物が生育・生息できなくなります。アフリカのサバンナやモンゴルの草原のように、放っておいても草原の状態が維持される自然と対比してもよいでしょう。

- 国立公園  
〈解説〉国立公園は、日本を代表する美しい景観をもつところとして国が定めたもので、全国で28箇所あります。熊本県では、阿蘇と天草の二つの地域が国立公園に指定されています。
- 草原の価値  
〈解説〉野焼きや草刈り等の作業が草原を守っていたこと、草原が価値あるものだというのを、子どもたちに発言させ、ここまでの内容をまとめていきます。さらにその草原が減っているという現状へ話題を移していきます。